



平成27年5月16日(土)、まちづくり市民交流プラザにて、公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」第13回助成事業の公開審査会を行いました。

今回の助成事業には、32団体(団体育成助成部門1団体、まちづくり活動発展助成部門28団体、まちづくり施設整備助成分野3団体)からの応募がありました。このうち、団体育成部門は書類選考で1団体を決定し、発展部門は14団体、施設整備助成分野3団体が書類審査を通過後、公開審査会に臨み、創意工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。審査結果は下表のとおりです。

今後、助成団体による活動状況についての中間発表会を開催します。どなたでもご覧いただけます。

中間発表会

- 日時:11月8日(日)午後1時～4時半(予定)
- 場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)北棟ギャラリー

団体育成助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
特定非営利活動法人 ヒューマン支援ネット	子どもの健全育成を図る活動/ 子どもの認知行動療法	4.5万円
計 1 団体		4.5万円

まちづくり活動発展助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
特定非営利活動法人フリースクール 木のねっこ	生きるねっこを育むフリースクール活動	31.8万円
特定非営利活動法人虹橋の会	和紙ちぎり絵や日本語教室などで 中国帰国者と地域日本人住民との親睦を築く	37.4万円
演劇集団ふらっと	演劇集団ふらっと第一回公演朗読劇 『いしぶみ』	29万円
権現峠の自然をまもる会	権現峠の歴史古道伝承による 伴中央地域のまちづくり	23.2万円
ロングトレイル研究会	広島湾岸トレイル(仮称)の開発・整備	29.2万円
八幡東はうれんそうネット	子どもが主役の遊びで学ぶ防災ワークショップ	22.1万円
アリスガーデンパフォーマンス広場 事業実行委員会	街文化の発信 「アリスガーデンパフォーマンス広場 AH!」	43.2万円
鯉城の会	市外から訪れる障害者の介助/鯉城の会	16.3万円
ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART	本で人がつながり、つながりから人が育つ 「ブック&カフェ」づくり	17万円
湯来里山会	湯来里山会「畑ガール」プロジェクト	14.4万円
集いの縁側プロジェクト実行委員会	集いの縁側プロジェクト	38.6万円
計 11 団体		302.2万円

施設整備助成分野

団体名	活動企画案内	助成金額
神乃倉山愛山会	イベント会場の棚改修工事	186万円
計 1 団体		186万円

寄付のお願い

「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていこうという基金です。現在、その基金を取り崩して助成を行っています。私たちの住む広島のみちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店/別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



▲ 第13回助成事業公開審査会



▲ 第13回助成事業公開審査会

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
ふむふむ
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行います。

平成27年度助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…

【ひと(Hito)まち(Machi)広島(Hiroshima)未来づくり(Miraizukuri)ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

Hm²助成支援団体のご紹介

ひろしま市民活動ネットワーク

ハート トウ ハート
HEART to HEART

事務局長 ^{たけうち ひとみ} 竹内 瞳さん

広島県内の市民活動やボランティア活動を活性化させるため、民間の自立したネットワーク力を駆使し、当会の会員や市民、あるいは地元に対してさまざまな場面やしかけをつくる、いわば市民活動団体の後押し集団的な存在として、平成13年4月に結成されたのが、「ひろしま市民活動ネットワークHEART to HEART」です。

主役に寄り添いサポートする応援団

「通常、どの市民活動団体も自分たちの活動目的・目標に向かって突き進みますが、私たちの活動は、団体が活動を行う中での悩みや問題点について、活動分野を超えて一緒に問題解決に取り組む“中間支援”という活動です。表に立つ活動は少なく、外からではどんな活動を行っているのか分りにくい点もあります。



▲ ハート・バーの様子

しかし、活動拠点の事務所には、日々さまざまな団体が訪れて、自分たちの活動についての悩みを相談されます。公的機関だけでは対応できない問題も、一緒になって解決策を考えます」と事務局長の竹内瞳さんは語ります。主な活動は、3つの場の提供

<https://www.facebook.com/HEARTtoHEART2001>

です。1つ目は「つながりの場」。毎月第4金曜日の夜に会食しながら情報交換を行い、出会いの中から新たな活動を生み出す“ハート・バー”の開催や、事務所にあるフェアトレードのコーヒーを飲みながら語り合えるカンパ制カフェ“ハート・カフェ”の常設。事務所ではフリースペースの貸し出しも行っています。2つ目は、「まなびの場」。活動資金の調達方法や、活動に関する啓発・研修の場も設けています。3つ目は「支援の場」です。これは、共同事務所の運営などを通して、小さな団体の力量アップの手伝いを行っています。その他、NPO団体のポスターコンテストを主催するなど活動は多岐にわたります。

「今後は、3つの活動を軸に、情報や知識の源となるさまざまな本を通して、団体の皆さんがさらにいきいきと活動できる『ハート・ブック&カフェ』を展開する予定です。本で人がつながり、学び合い、人脉と知識の蓄積によって力をつけていけば、団体の自立につながると確信しています。私たちは、さまざまな市民活動団体が活動の花を咲かせ、実を結ぶための種蒔きを手助けする役割を担い続けたいのです」と、竹内さんは今後について話をしてくれました。



▲ アリスガーデンで開催したNPOポスターコンテストの様子

演劇集団ふらっと

演出部責任者 ^{うめや} 梅屋 サムさん

広島に原爆が投下されて70年。被爆者も年々減少して、次世代への被爆体験の継承が難しくなっている今、演劇を通じヒロシマを伝えることを目的として、平成26年4月に結成されたのが「演劇集団ふらっと」です。

「大学時代に、演劇活動を行っていた代表の伊瀬村 拓朗が、広島で定期的に朗読公演を行う中でヒロシマの継承活動をしていた朗読劇「少年口伝隊一九四五」実行委員会の関係者と出会い、一緒に被爆体験の継承をしようと思ったのが結成のきっかけです」と演劇集団ふらっと演出部責任者の梅屋サムさんは語ります。

演劇を通してヒロシマの被爆体験を次世代へ継承する

誰もが気軽にふらっと参加し、体験できるものを作りたいという思いから、作品づくりにも配慮しています。現在は、経験者、未経験者合わせて8人の正式メンバーに加えて、朗読劇「少年口伝隊一九四五」実行委員会メンバー、その他



▲ 朗読劇の様子

広島で活動中の劇団のメンバーが、作品ごとにゲストとして参加。1年のうち、半年は被爆体験関連の作品を、残りの半年はその他の作品を手掛けているそうです。公演は、公民館のお祭りや、広島への修学旅行生の宿泊施設などで行っています。

結成2年目を迎える今年の夏は、第1回本公演として8月1日(土)・2日(日)の2日間、広島市東区民文化センターで、勤労動員中に原爆で全滅した広島二中(現在の広島県立広島観音高校)1年生322人の記録、そしてそれを追いかけたテレビ局のプロデューサーを描いた朗読劇「いしぶみ～広島二中一年生 八月の足あと～」を公演することになっています。

「今回、作品に参加してくれている役者、裏方は、年齢、性別、仕事などのそれぞれの立場を超えて、ヒロシマの思いを演劇を通して継承していくことを旗印に集まっています。今後も、被爆体験記、原爆詩、原爆をテーマにした文学作品等を、朗読劇や演劇で紹介し、粘り強く被爆体験の継承を続けていきたいと考えています」と、梅屋さんは今後について話をしてくれました。



さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。
地域活動やまちづくりのお手伝いに、
今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

こと 箏・サクソアンサンブル香音ひろしま 代表 岡本 義信さん
か の ん よしのぶ
スミエさん

広島への悲しみ、苦しみ、再生への喜びを表現。 夫婦が紡ぎだす、平和への祈りの詩

中学時代に吹奏楽部でクラリネットを吹いていた岡本義信さん。社会人時代に、サクソを吹くようになり、RCCラジオ「演歌大学」のバンドで演奏したこともあります。また音楽仲間とジャズバンドを結成して、広島市内のライブハウスで定期的に演奏を行っていたそうです。退職後は、6歳の時から箏を習い、生田流大師範として箏を教えている奥様のスミエさんと一緒にユニットを結成して、平成26年6月に、「箏・サクソアンサンブル香音ひろしま」として人材バンクに登録して活動しています。

平成18年にスミエさんが、小学生だった孫娘と一緒に平和記念公園を訪れ、被爆樹木あおぎりを見て感じた世界を詩に描きました。それを師匠である箏演奏家・作曲家小谷恵子さんが作った「オーロラの祈り(尺八添作曲 香登みのる)」に乗せて、十七絃箏とサクソで演奏し、朗読者と共に演じていました。その後朗読者が引退することになり、被爆の朗読活動



箏 岡本スミエさん

している坪井寿子さんを紹介され、現在まで一緒に活動しています。ユニット名「香音」の香は、演奏・編曲の指導を受けている香登みのるさんの香をいただいたとのこと。

被爆樹木あおぎりを通して、広島への悲しみ、苦しみ、そして再生していく喜びを表現した詩。そして、その詩に共感した音楽

仲間の手によって、大切な絆「あおぎり」という曲へと生まれ変わっていきました。

「詩と曲は全く別々に作られましたが、同時に作られたのかと思うほどの作品になりました。共通しているのは「平和への祈り」です。

私も朗読者の坪井さんも被爆者です。今後も私たちの代表作「あおぎり」を通して、「平和の大切さ」を伝え、聴く人々に生きる力や希望を与えていきたいと考えています。」と岡本義信さん。

活動は岡本さん夫婦のみで演奏することもあれば、朗読者の坪井さんを加えた3人で演じることもあります。場所は、公民館や児童館、企業のOB会やデイサービスセンターなどさまざまな所で、平均月4回程度行っています。レパートリーは、箏の古典曲、ポピュラー音楽、懐かしの昭和歌謡曲、ジャズなどおよそ50曲近くあり、演じる場所や聴く人たちの世代によって構成を変えているそうです。

夫婦ならではの息の合った音楽で、平和への祈りを訴えていく姿に、大きな力を感じました。



▲演奏会の様子



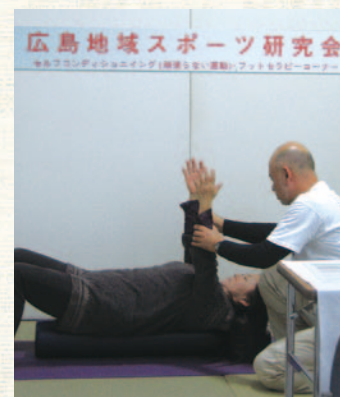
サクソ 岡本義信さん

ひろしま健康づくりチーム90 事務局長 井上 謙さん

地域スポーツの普及を通して、健康寿命を延ばし 元気でいきいきとした人生を目指す

広島市在住のスポーツ育成に携わる人たちが、広島市民が90歳まで元気でいきいきとした楽しい人生が送れるように運動・教養・食・余暇・休養をトータルで捉えて、健康寿命を延ばす。そのために、心身の健康を応援する事を目的としているのが「ひろしま健康づくりチーム90」です。平成24年3月には、人材バンクに登録。事務局長を務めるのは井上謙さんです。現在は、30以上ものスポーツ関連のカリキュラムを指導することができます。

「チームを作るきっかけは、平成13年に開かれた「広島市コミュニティスポーツリーダーズスクール」を受講したことです。講師の荒井貞光先生は広島大学、広島市立大学でスポーツ社会学を指導されており、地域スポーツとコミュニティの必要性を説かれていました。その趣旨に賛同した仲間たちと「広島地域スポーツ研究会」を結成し、毎月、定例会を開き、スポーツ論について議論を重ねていました。それが今のチームの母体となり活動しています」。荒井先生亡き後は、同じく当時の講師であった広島大学の東川安雄先生に指導を仰ぎ、各スポーツ育



▲ブラチナ世代対象のイベントでの指導の様子

成に携わる人たちが、それぞれの専門分野を活かしたカリキュラムを作成して、教育委員会や公民館、高齢者施設などに出向いて健康づくり講座や講演会、研修会を開き、地域スポーツの発展に寄与しています。

「私自身が会社員時代に知った、スウェーデン生まれ

のクップ(スウェーデン語で薪を意味する)を使ったコミュニティスポーツ「インドア・クップ」の面白さに夢中になって、協会を設立。指導員の資格を取得して普及に努めています。他にも、われわれのチームに所属している人たちは、体調改善運動

やノルディックウォーキング、ミニテニスなどの運動系から文化教養系まで幅広いジャンルの資格を持っていますから、ニーズに合わせた適切な指導を行うことができます。その点が評価され、各方面から講座や講演活動の依頼をいただいています」と井上さん。

今後も、市民の幅広いニーズに合わせ、健康寿命を延ばしていく事をテーマにいろいろな活動にチャレンジしていきたいそうです。そしてチームの名前をもっと知ってもらえるようにもなりたいそうです。



井上謙さん



▲地域の女性会イベントでの指導の様子

まちづくりボランティア人材バンクは「達人の宝庫」、ぜひ活用ください!

地域活動や手づくりイベントなど市民の皆さんが活動する中で、「アドバイスがほしい」「教えてほしい」と思うことはありませんか?困った時には、その道の「達人」に講師や指導者をお願いするのが一番です。

まちづくりボランティア人材バンクでは、「達人」の紹介・コーディネートをしています。人材バンクには、現在270を超える達人たちが登録しています。ジャンルは、学習・子育て、社会・歴史、家庭生活、国際理解・語学、スポーツ・レクリエーション等、非常に幅広く、市民の皆さんのご要望にお応えできる達人が、きっと見つかるはずです。達人たちの情報が満載の人材バンク登録内容リストはプラザや公民館などでご覧いただけます。プラザでは無料配布もしています。

また、【ひろしま情報a-ネット】<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>でも見る事ができます。気になる達人が見つかったら、まずはお気軽にプラザへご相談ください。

達人たちの交流会 つながりひろがれ 人材バンクの輪

5月23日に、まちづくりボランティア人材バンク交流会が開催されました。日頃は別々に活動をしている人材バンク登録者が一堂に会し、お互いの活動紹介や近況報告をし合い、交流を図る行事です。交流を通して、さらなる活動のヒントや達人同士が連携するきっかけを見つけています。達人同士がつながり、活動の輪が広がり、人材バンクの利用が増え、まちづくりとボランティアの輪がつながり、広がるように、これからも達人たちの活動は続きます。

まちづくりボランティア 人材バンク発表会

今回ご紹介している方々は、「まちづくりボランティア人材バンク」に登録されています。登録者が自らの達人ぶりを披露します。参加は自由ですので、気軽にお立ち寄りください。

- 日時/毎月第4土曜日 午後2時～4時
- 場所/南棟1階ロビー
- 参加費・申込/不要

月 日	内 容	出演者名
8月22日(土)	マジックショー&マジック教室	中島 幸司 さん
9月26日(土)	中国の伝統的な気功	広島気功(法輪功)愛好者の会
10月24日(土)	医療・健康・福祉とつながる食生活	一般社団法人農・食・医同源研究センター
11月28日(土)・29日(日)	まちづくり市民交流フェスタ	ステージや体験ブースへたくさんの方の登録者が参加(予定)

※内容等変更になる場合があります。

達人紹介・達人登録などのお問い合わせ先

合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)
☎(082)545-3911 ☎(082)545-3838